

KGA



'01夏季号
2001年8月1日発行



No. 75

目次

ゴルファーのためのマナー基礎講座(10)	平成13年度 関東倶楽部対抗予選競技 ……15
互恵の精神で奏でるアンサンブル ……1	平成13年度 関東倶楽部対抗決勝競技 ……18
平成13年度 関東女子ゴルフ選手権決勝競技 ……3	分科委員会 ……24
平成13年度 関東グランドシニアゴルフ選手権決勝競技 ……6	月例競技成績表・お知らせ ……28
平成13年度 関東アマチュアゴルフ選手権決勝競技 ……10	

表紙Photo 関東倶楽部対抗決勝競技・戸塚カントリー倶楽部(撮影・片山晴美/KGA広報委員)

KA 関東ゴルフ連盟

10 ゴルファーのためのマナー基礎講座

互恵の精神で奏でる アンサンブル

文・杉山通敬 (KGA広報委員)
カット・山縣和彦

今年の倶楽部対抗を観戦して感心したことがある。グリーン上でのプレーヤーとキャディの段取りというか、「間」の良さである。プロ競技は1人のプレーヤーに1人のキャディがつくが、われわれの普段のゴルフは4人に1人のキャディが当り前になっている。

倶楽部対抗はふだんのゴルフとはすこぶる趣きを異にするけれど、4人に1人のキャディは同じだった。全員が開催コース戸塚CCのハウスキャディである。ふだんのゴルフでも1人で4人の面倒をみるのは、少しばかり卑近にすぎないかもしれないが、遊びたい盛りの4人の子供を1人の保母が面倒をみるようにずい分と、気疲れするであろう。

倶楽部代表の4選手がそれぞれ、名誉をかけてプレーをするのだから、キャディさんの気配りや気苦労はふだん以上のものがあるにちがいない、と思えばらくの間、西コース(Bクラス使用)18番グリーンサイドで観戦した。内心では、きっと駄々っ子のわがままに手を焼くような場面があるだろうな、もしそんな見苦しい場面ばかり見せられたら、一言物申さなければいけないのだろうな、嫌だな、と心穏やかでない思いで観ていた。

が、それは杞憂だった。通過するどの組の4選手も、見苦しい場面を見せるどころか、まるでグリーン上で様式美を展開するようにしてホールアウトして行くのだ。具体的にいうと――

4人全員がグリーンにボールを乗せたところで、キャディさんは最も遠い所に乗せたプレーヤーに歩み寄り、プレーヤーがマークしたボールを拭く。拭きながら、プレーヤーがきけばラインの助言も耳元で囁く。そうやって遠い順と同じ「仕事」をしたあと、ピンを抜く。持ってくれるように言わ



れなければ、グリーン外に待機し、最初にホールアウトしたプレーヤーが代わってピンを持つ。そしてキャディさんはひと足先にその場を引き揚げ、あとは3人のプレーヤーが順次、ホールアウトし、ピンをホールに立てて引き揚げる。

それぞれの「間」が過不足ないので、流れるようにして段取りよく進むのだ。

選手それぞれに「目標スコア」があり、それを達成するために精一杯のプレーをしているにちがいないのだが、それはいまさら言わずもがなのことである。フェアプレーの精神に則りベストを尽くしてプレーするのは、自明のことである。キャディさんもそのことを十分に心得ているから、4人のプレーヤーに公平な心配りをする。1人のキャディと4人のプレーヤーが室内楽でも合奏するように絶妙なアンサンブルを奏でていた。

◆改めざる人びと◆

いささか楽屋ばなしになるが、この会報の編集会議で、マナー講座のテーマを何にしたらよいか、広報委員一同で意見を出し合った。服装のこと、スロープレーのこと、クラブハウスでの振舞いのこと、ボールの打ち込み事故のこと、いろいろな意見が出た。

いずれも、テーマにしてよい問題ばかりなのだが、さて書くとなると容易ではない。いや、書くだけなら容易である。

「他人に迷惑をかけるな。不快な思いをさせるな」それだけでコト足りる。そして、コトあるごとに言われつけていて、改める人はどうのむかしに改めている。改まらない人はいくら言われても改めない。くあやまればすなわち改むるにはばかり

平成13年度 関東女子ゴルフ選手権決勝競技

- 開催日 平成13年5月24日(木)、25日(金)
- 開催コース 伊豆大仁カントリークラブ 6,107ヤード パー72

文・山田和臣 (KGA広報委員)
写真・片山晴美 (KGA広報委員)

しのぎをけずる “力”と“技”



例年、関東女子ゴルフ選手権決勝日は天候が定まらない。スコアの方も天候のように定まらない。第1日の1位は-2、2位は0が2名、4位の+1が3名、7位は+2が4名と混戦模様となった。2日目の朝は、昨夜来の雨がふったものの霧が立ち込め定時にスタートできるか心配されたが7時30分には太陽が輝き始め、黒あげは蝶が舞いはじめた。昨夜の雨でフェアウェイはランが少なく打ち上げグリーンが多い丘陵コースは昨日と一変して、難易度が高くなった。出場者の最年長者は64歳、最年少は14歳と男子競技では考えられない年齢差である。

このような競技の場合、コースセッティングが問題となる。新井競技委員長に語ってもらった。「年々、クラブ、ボールの改良発展により飛距離

が伸び、これから先、どの様に対応するか頭が痛い。飛距離だけを視れば世界的なレベルとなった。特に若い人のレベル向上はめざましいものがある。ベテランの技術、若者のパワーを共に公平、公正



優勝した田村潤子さん（十日町）のダイナミックなスイング

ことなかれ」というけれど、あやまちをおかしていることに気づいていなければ改めようもないのである。

乱れた服装をしている人は、自分が乱れた服装をしているとは思ってもいない。スロープレーヤーは、自分のスロープレーが他人に迷惑を掛けていることなどツツほども感じていない。クラブハウスで大声でしゃべり合っている人は、自分達が周りの人びとに不快な思いをさせていることなど、ハナから気づいていないのである。気づいていないのだから改めようがない。議論の末に、

「無駄鉄砲ばかり撃っても仕様がなっていないのですか」

ということになった。

「では、何をテーマにしましょう」

話は振り出しに戻ってしまった。これまた楽屋ばなし、いや自戒の弁だが、マナー講座を担当するには最も不適格な者が、これを担当すること自体（たとえ押しつけられたとしても）、あやまちなのである。それを知れ、と自責の念にかられるばかり。

「ここはひとつ、倶楽部対抗を観戦してマナー講座向きのタネを拾ってもらおうことにしましょう」これが結論。

そんなわけで、Bクラスの選手がプレーする18番グリーンサイドにしばし立ちつくし、タネを拾ったところ、冒頭のような好個のシーンを観ることが出来たのである。

◆◆「いい奴」として◆◆

さてそこで、改めて思い出したのは、トミー・アーマーが言った言葉である。

「僕のことはゴルファーとしてよりも、ひとりのいい奴として覚えていて欲しい」

と言ったのである。知っての通り、アーマーは1927年の全米オープン、31年の全英オープンに勝ち、後年はシルバースコットの愛称で名インストラクターになった名ゴルファーである。だけど「ゴルファーとしてよりも、ひとりのいい奴として覚え



ていて欲しい」と死ぬ数年前に言ったのである。

人は何のためにゴルフをするのか。「いい奴」になるためである。アーマーの真意を推察すればそのようなことなのではあるまいか。

また、こんなことも言っている。

「素晴らしいゴルファーになってチャンピオンシップで優勝するのはいいものだ。でも、世界でも優れたゴルファーでも、脊椎炎の人間をひとりでも救えるわけではない」

一般のゴルファーは、自分のゴルフが上達するにつれ、自己を過大評価する傾向がないだろうか。人間が上等になったような錯覚をする。いや、本当の名人達人はそんなことはない。上達にともなうますます、謙虚になり、人への気配りや思いやりも深くなることは、古今東西の名ゴルファー物語を読めば知らされる。

利己的行動よりも、利他的行動をとるようになさえる。そして、利他的行動は互惠性があるが、利己的行動には互悪性が芽生える。アンサンブルのよい音楽と悪い音楽のちがいのように、演奏者が互いに相手の音に合わせて和み合えば聴衆を愉楽の世界へ誘ってくれる。誰かひとりでも自己顕示の強い、突出した奏で方をすれば全体のアンサンブルは損なわれ、ついにはわれもわれもとばかりに互悪化する。

これは技術の好拙の問題でない。互惠の気持ちがあるかないかである。上級者は上級者としての矜持を持って、ダッファーはダッファーなりに自覚を持って、全体のアンサンブルを損なわないようにプレーを進めていくのがゴルフの美德ではないだろうか。その美德の上にエチケットは成り立っているのだ。

18番グリーン上で展開された、1人のキャディと4人のプレーヤーのアンサンブルはまさに、互惠の精神によって巧まらずして調和し合っていた。誰か1人でも、1人のキャディを独占するような利己的な振る舞いをしたら（ことによるとそういう組もあったかもしれないが）、アンサンブルは途端に崩れ、1日中不快な思いをしたにちがいない。



25回決勝出場を果たし、特別表彰を受けた尾関久江さん(左)と、湯原光葉さん

本女子で、予選ラウンドは、通過したものの、マッチプレーで1回戦敗退しました。その雪辱を今年は晴らしたい」

二人の苦言

尾関久江、湯原光葉さんの二人が決勝出場25回の特別表彰を受けた。お二人にインタビューしたが、尾関選手は25年を振り返って「女子ゴルファーが増え、競技会も多くなったことはとてもうれしい。ただ、ゴルフは飛距離を競うものではない。ジュニア、学生ゴルファーに言いたいのは単なる球打ち屋にならない様に言動に注意してほしい。」と苦言を頂く。

湯原さんは、12年間KGAジュニア委員を務め、JGAナショナルチーム強化委員でもある。

「若い人は球を打つ技術のみが先行して本当のゴルファーとしての自覚が足りない。先輩として後輩にしっかり伝えて行かなければならない」と、注文をつける。

今年日本ゴルフ百年の記念すべき年である。この競技に象徴されるように、老若男女、ともに、ゴルフを楽しめる時代となった。まさに、国民スポーツ、生涯スポーツとしてのゴルフとなった。本競技で、若さを爆発させた、ジュニア選手も、10年後はベテランとなる。その意味で明日のゴルフ界を背負う、ジュニア諸君に期待したい。

に生かすセッティングは至難である。今日は、グリーンを3.2mmのクロスカット、パットとアプローチ勝負になるように仕上げてもらった。」

今年は一寸違うぞ

第1日目トップの田村潤子選手は雪国新潟十日町カントリークラブ所属である。コースは11月中旬には閉場し、翌年4月25日頃開場となるハンディを背負ってのこの成績は見事である。

2位にはベテラン渡辺恵子、南雲真里選手等が続いて居る。果たしてハーフターンを終えた時には、混戦状態にもつれ込んだ。しかしスコアを崩しながらも体力に恵まれる田村選手は淡々として自分を失うことなく各ホールを攻め見事に栄冠を手に入れた。ここ何年、学生選手にタイトルを奪われつづけており、特筆すべき快挙と言えます。

優勝の弁を語ってもらおう。「18歳からゴルフを始めて月平均10日位のラウンドをしています。中央でプレーする機会が少なく、トップアマが一堂に集まるこの競技は本当に参考になります。また、緊張もします。去年は日



競技が終了すればなごやかなパーティ、話しがはずむ

平成13年度 関東女子ゴルフ選手権決勝競技成績表

エントリー-136名/出場者133名/欠場者3名

Table with 5 columns: 順位, 選手名, 所属, 第1ラウンド, 第2ラウンド, 合計. Lists 133 participants and their scores.

予選競技メダリスト選手. Table with 2 columns: 第1ブロック, 第2ブロック. Lists winners and runners-up.

Table with 5 columns: 順位, 選手名, 所属, 第1ラウンド, 第2ラウンド, 合計. Lists 133 participants and their scores.

特別表彰 (25回出場表彰) 尾関 久江 (武蔵)/湯原 光葉 (鳥山城) (20回出場表彰) 青木 英子 (千葉)/矢島智都子 (富士) (10回出場表彰) 金 沙織 (都賀)

平成13年度 関東グランドシニアゴルフ選手権決勝競技

- 開催日 平成13年5月28日(月)
- 開催コース 鷹之台カンツリー倶楽部 6,304ヤード パー72

グランドシニアに激震 若手女子アマの脅威の飛び

——人生の達人たちに飛距離アップの秘法を聞く——

文・塩田正、山根ミドリ (KGA広報委員) 写真・舟橋一芳 (KGA広報委員)

平成13年度・関東グランド・シニア・ゴルフ選手権競技は、去る5月28日、快晴の鷹之台カンツリー倶楽部で、予選を通過した128名によって行なわれた。結局、午前のラウンド(アウト)を1アンダーの35でまわった堀内良一選手(富里)が、インも3オーバーの好スコアでまとめ、合計74で初優勝した。

●話題はもっぱら女子アマの飛ばしっぷり

関東グランドシニアの当日、クラブ・ハウスの食堂で話題になっていたのは、その前の週に行なわれた関東女子アマチュア選手権(5月24、25日伊豆大仁CC)での若手の飛ばしっぷりだった。

口火を切ったのは、当グランドシニア選手権競技の新井安寿競技委員長だ。

「とにかく凄いもんです。ぼくも年相応には飛んでいると思っているんですが、女子の若手の飛ばし屋さんにはとてもかないません。恐らく30~50ヤードは先へ出るんじゃないですか」

と目を丸くして飛びの凄さを語る。

例えば伊豆大仁コースの10番ホールを例にとると、グランド

シニアでも飛ぶ人で第2打がほしい5番アイアンくらいだが、彼女らがティー・ショットのあとで使うクラブは恐らく9番かピッチング・ウェッジの距離のはずだという。さらに同コースの1番の526ヤードの上りのホールでは、この日のスタート時点では、前の晩の雨で芝が濡れている状態だったにもかかわらず、飛ばしが目立つ彼女らが使う3打目のクラブは、ほとんどが9番、ピッチングなどのショート・アイアンだったと新井委員長は証言する。

こんな関東女子アマの凄い飛ばしっぷりの話が延々と続く。「はてな、きょうはグランドシニアの取材のはずだが——」と一瞬思ったのだが、考えてみれば、いまから10年くらい前までは、グランドシニアと関東女子アマ選手権では、その飛ばしの平均も同じくらいだったはず。ちょうどその頃、相模カンツリー倶楽部で行われた関東グランドシニア選手権で、参加選手のドライバーの飛距離を12番ホールで測定したことがあった。そのときの結果では、何人が突出した飛距離を出した人はいないが、参加者全員の平均飛距離は200ヤードほどだった。この飛距離は、ほぼ関東女子アマに出場して行く人の平均飛距離に近



今年度チャンピオン 堀内良一さん

い数字でもあった。つまり、10年前まではグランドシニアと関東女子アマに参加している選手は、ほぼ同等の飛距離と見られていたわけである。

ところが新井委員長の話では、いまやこの均衡は崩れ、女子選手のほうが圧倒的に遠くへ飛ばしており、その差は開く一方ではないのかというのである。しかし、とはいっても「70歳以上でも、今の世の中ではまだ老け込む年ではない。女子アマの飛ばし屋さんに負けないで欲しい」新井委員長が一気に話しかける言葉の裏には、そんなグランドシニアにかかる期待が込められていると思えば、グランドシニアの会場で女子アマの飛ばしに熱がはいるのもうなずける。

●若い女子アマに負けない飛ばしの術

そこで関東女子アマに競技委員を務め、本大会にも選手として出場した大島義治と宮本忠志氏に女子アマの飛ばしっぷりについて、この目で見た印象を語ってもらうことにした。まず大島氏は「平均250ヤードという選手がかなりいるんじゃないか」と前置きをしながら、つぎのように話す。

「ワン・ピースの動きが目立ちます。バックスウィングでからだと腕、それにクラブが一体となってトップまで上がり、そのあとは素晴らしいリズムで一気にフィニッシュまでもっていきます。こうした動きは筋肉や関節が柔らかい若い人でなければできません」

と若い女子選手のスウィング技術をこう分析する。たしかに現在ジュニアで鍛えられた選手は、かなり進んだ技術を身につけている。そして恵まれた基礎体力と、それを十分に生かす体力アップの練習法も相当進歩している。大島氏はこうした技術と筋力の強化が車の両輪となって、飛ばしの逸材をつくり上げているという考えを示す。

では、グランドシニアのみなさんが彼女らに追いつくことは可能なか。

「難しいですね。ただ、いまよりもっと飛ばすことはできると思いますよ。それには自分流の考えですが、発想を変えて、アウト・ツー・インの軌道で振ることです。昔からスウィング軌道の基本はインサイド・アウトといわれていましたが、これでは筋肉や関節の堅くなったわれわれにうまくからだは動きません。アウト・ツー・インなら



童心にかえてフルショット。球の行方は?

らくに腰から回転でき、ヘッド・スピードも上昇します。女子アマの飛ばし屋さんグループには歯が立ちませんが、中堅クラスの人の飛距離には対抗できるんじゃないですか」

と、グランドシニア流の秘伝をこう解説する。

もう一人、女子アマに飛ばしのショックを受けた宮本忠志氏は、

「こんどの関東女子アマを見て、若い女子アマの飛ばしっぷりに驚かされた一人ですが、たしかにベテラン女子アマの人よりも100ヤード近くアウト・ドライブしていたんじゃないですか、3位タイになった浅川辰彦さん(武蔵CC)のお嬢さん(弘子さん)は大学生になって、いっそう飛距離が伸びたんじゃないでしょうか。お父さんの浅川辰彦さんは私と同じ武蔵CCのメンバーですので、とくに目についたのですが……。お父さんが「うかうかしているで負けちゃうかもしれません」といっていましたが、道具もよくなったし、体力もある若い女子の飛ばしっぷりが目立ちましたね。僕は2番の220ヤード地点にいたのですが、若い子の中には僕の頭の上を越えていったのが、何人もいました。「競技委員がそんなところには邪魔だ」なんて顔して通りすぎていきましたよ」

と、宮本氏はいうのだが、たしかに220ヤードをキャリアで越えていくというのは凄いことだ。

では、グランドシニアとしては、何か負けなないための奥の手でもあるのだろうか。

「下半身を鍛えることでしょね。このあいだ一緒にプレーした昭和15年生まれの友人は、大変な飛ばし屋さんですが、聞けば下半身の動きがなくては振れないほどのアメリカ製の重いクラブで素振りを繰り返し練習し、凄く飛ばようになったとっていました。これが下半身の鍛錬がいかにかに重

要かということ証明してくれていると思います。また武蔵のメンバーで、杉山沖四郎さんという飛ばす人がいますが、この人も下半身が強くて、しかも安定しています。下半身が弱いと上体だけで打ってしまいますが、強ければ年相応以上の飛距離を出すことはできるのではないのでしょうか」

と、ジョギングやウォーキング、それに素振りなどによる下半身の強化を勧めている。

● 下半身を鍛えて飛距離アップ

クラブ・ハウスの食堂での新井委員長の女子アマの飛ばしの話がきっかけとなって、グランド・シニアの年齢になって、いかに飛ばしの距離を増大させるかというところに話はきてしまったが、その話をさらに進めることにしよう。そこでつぎにお話を伺ったのは、グランドシニアの小さな飛ばし屋といわれる前出の杉山沖四郎選手（武蔵CC）だ。

杉山選手は身長1メートル65、体重57キロで、見た目ではとても飛ばし屋さんとは思えない、ところがである。ティーでひとたびビューンとドライバーを振ると、打球は260〜270ヤード先まで飛び去ってしまう。どこにその秘密がかくされているのだろうか。

「そんなに飛びませんよ。よく飛んで250ヤードかな」と杉山さんはこう謙そんして答えるが、飛びのポイントは、前出の宮本さんも指摘しているように下半身の動きにあることを強調する。

「僕はドライバーでもアイアンでも下半身をよく使うんですよ。みなさん僕のフォームを見て笑うんですが、体重移動が大きいんです。自分じゃ自然にやっていますからわからないんですが、これで最近をよく飛んでいると思いますよ。ただ若い頃は力にまかせて打っていたのでかえって飛ばなかったですね。下半身を使い、体重移動がスムーズに行くようになってから飛び始めたように思います。

アイアンも同じです。ピッチング・ウェッジで120ヤードほどの距離を狙いますが、アイアンでも下半身先行の打ち方のほうが、インパクトもシャープだし、飛びもそれにつれてよく飛びます。とにかく足・腰の筋肉は大きい筋肉でパワーがありますから、これを使わない手はありません」

と、杉山選手は特徴である右膝を左膝へぐっと送り込むダウンスウィングが飛びのポイントだと見ている。

今年からグランドシニアの仲間入りした元NHKのスポーツ担当キャスター、羽佐間正雄選手は「グランドシニアのよさはマナーもトークも素晴らしいこと、古稀を迎えてなお新人といわれるのはゴルフだけです。その上、研究熱心な人が多いので、いずれ飛ばしの達人が現れるかもしれませんよ」と70歳過ぎのゴルファーが人生の達人であると同時に、飛ばしの達人になり得る可能性も秘めているというのである。そんな目で見れば、21世紀のグランドシニア・ゴルファーは、気持ちの上でも飛びの面でもまだまだ女子アマに負けてはいられないと思うのだが……。



最長老山口栄寿さん（83歳）が乾杯の音頭

【優勝者の言葉】

フェアウェー・キープが勝因

堀内良一（富里）

こんな名譽ある大会に優勝できて大変感動しております。出場する前は、ただ関門を突破して「広島」（日本グランドシニア選手権）へ行きたいなど、思っておりましたが、まさか優勝することなどは夢にも思っておりませんでした。ほんとうに幸運としかいようがありません。

ただ練習日に来て感じたことは、このコースは距離もあるし、ラフも深いので絶対に曲げてはいけないということでした。

大会当日も、フェアウェーにボールを置くということだけに気を使ってショットしました。それがうまく当たってキャディさんが感心するほどフェアウェーにコントロールすることができ、これが最大の勝因と思っております。これからはグランドはグランドらしく、正確さを重視するプレーに徹したいと思っております。

グランドシニアは今年から仲間入りした新人でするので、これからは若さを失わず、堅実にプレーしたいと思っております。有難うございました。

平成13年度 関東グランドシニアゴルフ選手権決勝競技成績表

エントリー128名/出場者122名/欠場6名

Table with 6 columns: 順位, 氏名, 倶楽部, アウト, イン, 合計. Lists 122 participants and their scores.

Table with 6 columns: 順位, 氏名, 倶楽部, アウト, イン, 合計. Lists 122 participants and their scores.

予選メダリスト

- 第1ブロック 永川 義雄 (土 浦) 77ストローク
第2ブロック 諸保 幸雄 (富士) 76ストローク
第3ブロック 武田 博 (入 間) 76ストローク

特別表彰 (関東シニア(決勝)・関東ミッドシニア・関東グランドシニア出場)

- (15回出場表彰) 茅野 実平 (諏 訪 湖)
(10回出場表彰) 荒井 照夫 (藤ヶ谷) / 石橋 義夫 (東 京) / 倉田 金造 (常 陽)
小宮山幹彦 (大 利 根) / 杉坂 智男 (桜ヶ丘) / 土屋 善 (藤ヶ谷)
永井 重吉 (磯 子) / 西田幾久彦 (霞ヶ関) / 吉田 光守 (嵐 山)

※エージシュート

山口 梅吉 (横 浜) 80ストローク 80歳 (1920.9.3) 山口 栄寿 (廣 沢) 83歳 (1917.5.14)

平成13年度 関東アマチュアゴルフ選手権決勝競技

- 開催日 平成13年6月4日(月)～7日(木)
- 開催コース 龍ヶ崎カントリー倶楽部 7,012ヤード パー72



小川透が見た アマチュア気質の今昔

—25年出場の特別表彰を受けたベテランゴルファーの感慨—

文・塩田 正 (KGA広報委員) 写真・舟橋一芳 (KGA広報委員)

平成13年度、関東アマチュア・ゴルフ選手権は、6月4日から4日間、龍ヶ崎カントリー倶楽部(茨城県龍ヶ崎市)で、161名の選手を集めて行われた。その結果、甲斐慎太郎選手(日本体育大)が、プレー・オフの末、河瀬賢司選手(日本大)を押さえ、9オーバー297のスコアで初優勝を飾った。

一度は魔物の餌食になった甲斐だが

17番を終わったところで甲斐慎太郎(日本体育大)の優勝が見えてきた。14番で甲斐がバーディを挙げたのに対して河瀬賢司(日本大)がボギーと崩れ、それまで1打リードしていた河瀬が、ここで大逆転を食らってしまったのだ。そして17番も甲斐がバーディで追い上げ、この時点で、河瀬に2ストロークリードして18番のティーに立ったのである。

しかし、龍ヶ崎CCの18番は「魔物が住む」と恐れられているホール。昭和54年の関東アマチュア選手権で羽川豊(現プロ・ゴルファー)と内藤正幸(桜ヶ丘)が大激戦を演じ、内藤が1ストロークのリードを保って18番まで来たが、羽川が勝負を左右するパットを決めてまずこれをバーディとし

た。これに対して内藤が痛恨のボギー、羽川に逆転の優勝をさらわれたという「過去」がある。

やはり大詰のこの場面で、甲斐も内藤同様、魔物を見てしまった。甲斐は18番の第2打、フェアウェー右からグリーン右のバンカーに入れてしまったのだ。ピンがバンカー際に立っていて、バンカーからピンを狙う場合、エッジギリギリに落とすとしても、下りスロープのため、打球はピンを大きくオーバーしてしまうという状況である。甲斐はここで「2打差だからボギーでもいい」と観念したそうである。実際に甲斐のバンカー・ショットはぐんぐん転がり落ちて左のエッジ近く、10メートルもピンから離れてしまった。

河瀬が5メートルの距離につけているが下りの難しいパットを残しているだけに、甲斐はこの長い距離を2パットでいけば、なおまだ18番で優勝を決めるチャンスはあった。だが、甲斐はこの10メートルパットをオーバーさせ、返す1メートルのパットもはずしてダブル・ボギーとし、パーの河瀬にプレー・オフに持ち込まれてしまったのである。

そしてプレー・オフでは4番ホールで甲斐が3オン2パットのパー、河瀬がティー・ショットを林に入れ4オン、2メートルのパットをはずしてボギーとし、4ホール目で甲斐の優勝が決まった。

甲斐は一度は18番の「魔物」に呼び込まれたが、持ちまへのねばり強さで堂々プレー・オフを制した。これで甲斐は平成11年の九州アマチュア選手権についで2地区の優勝をかちとり、さらに日体大勢3連覇(中田範彦=平成11年=江原清治=同12年)へ結びつけた。

唯一のアンダー、小川透の強さの秘密

甲斐の優勝でここ8年間連続して学生ゴルファーから優勝者が出ていて、学生陣が関東アマでは断然目立つ活躍をしているのだが、今回は、社会人の活躍も見逃せない。3位の和田雅秀、6位の和田博(ともに東京五日市)の兄弟選手、それに出場25回以上というベテランの小川透(9位=岡部チサン)、阪田哲男(10位=袖ヶ浦)らが、その代表的選手だが、とくに小川は初日71という唯一人のアンダー・パーのスコアで気を吐いた。

小川は前記のように今年、関東アマチュア決勝競技に25回目の出場を果たし、関東ゴルフ連盟から表彰を受けた超ベテラン選手である。昭和18年生まれというから、ことし58歳の誕生日を迎えることになる。

その小川が、選手のだれもが難しいという龍ヶ崎CCで、この大会中、だれもが成し得なかったアンダー・パーで初日を制したのである。

「パットのおかげです。この3~4ヵ月前に従来の逆オーバー・グリップからクロス・ハンドに変えてみたんです。それまでショート・パットにトラブルがあったんですが、クロス・ハンドにして安心して打てるようになった。イップス気味のストロークがこれで直ったんですが、お蔭で60台のスコアも出るようになりました」

と好スコアのポイントをバッティング・グリップの変更にあると強調する。これまでは、ドライバーがびしびし当たっても、あるいはアイアンがピタッと決まっても、そうしたよい流れをショート・パットのミスで途絶えさせてしまうことが多かった。だが、グリップを変えて、ショート・パットがはいり出し、プレーの流れをつなげられるようになった。この日も6つのバーディを挙げたが、それも苦手なショート・パットがほとんどきまり、ミドルやロング・パットがよくはいった結果だと振り返る。

しかし、長いあいだトップ・アマの座を確保しつづけるには、それなりの厳しい練習があるはずだと、その点を聞いてみると、意外や意外、つぎのような言葉が返ってきた。

「4~5年前から練習らしい練習はほとんどやっていません。月に8~9回ラウンドしますが、練習場へは足を向けません」というのがそれである。なぜ——。

「月に8回も9回もコースへ行けば、それが十分

練習の役目を果たしてくれているからです。もうそんなに若くありませんから、この上、練習場に出かけると、疲労が蓄積されてしまうからです。例えば、きょう(関東アマ決勝日)終わりますよね。そうするとあと3日は疲れがとれない。疲労しているときに無理な練習をすると、筋肉とか関節をやられる危険があります。だからやらないんです」

トップ・アマの中には、四六時中コースにいるか、練習場に行かないと、気が休まらないという人が多いと聞く、要するにつねに自分の腕を磨いていないと不安に駆られ、安定しないというのだ、いつも練習場へ向かっているという「練習症候群」



今年度チャンピオン甲斐慎太郎君

といわれる人たちのことだ。

「それは若いときの話ですよ。ぼくだって30歳代のときは毎日のように練習場へ行っていましたからね。40歳代で半分くらいになり、50歳代ではほとんど、いかなくなりました。もちろんラウンドでしっかり練習も兼ねてますから不安にはなりません」

その代わり、昔はよく使った車を最近ほとんど使わなくなった。都内の仕事ででかけるときも、足となるのは電車、地下鉄、バスだ。これを使うと駅の階段など、結構、足腰の鍛練になることが多いという。いまはむしろ練習場よりも車を使わないで歩くほうに重点を置いているという。その自然鍛練法が実って、若い人に混じっての今回の上位入賞といってもよさそうだ。

● 小川が見たゴルファーの気質の変容

現代のゴルフの特徴を一口でいえば、超ロング・ヒット時代といってもよさそうだ。プロの世界はもちろん、アマの世界でも300ヤード近く飛ばす人はかなりの数にのぼる。優勝した甲斐や2位の河瀬はもちろん、中島雅生などの若手、学生ゴルファーのほとんどは、超ロング・ヒット時代の旗手といつてよさそうだ。



あまりの飛距離に競技委員も唖然

そんな飛ばしの時代があって、小川は関東アマに25回も出場したいまも、トップ・アマとして活躍している。この機会に小川がとらえたアマチュア像“昔と今”にはどんな違いがあるか、そのへんを語ってもらうことにした。

まずは25回出場についての感想は――。

「もうそんなになるのかな――。というのが実感ですが、こんど表彰を受けて感じたことは、長いあいだアマチュア・ゴルファーとしてやってこれたのは、家族の理解があったからということに尽きます。競技のために一家の主人が家を空けてきた――このことに対し、感謝の気持ちでいっぱいです」

とまず、関東アマ25回出場について小川は率直に家族への感謝の言葉を述べる。そしていまは、もちろんこれからも26回、27回と参加の数を増やしていくが、昔と変わったのは練習場への回数がなくなり、家庭にすることが多くなったことだ。この点はこれまで支えてきた奥さんにとってもほっと一安心だろうし、長男の晋君は現在、小川の学生時代（慶応大学＝野球部）と同じように専修大学の野球部に籍を置き、もうすぐに一本立ちの日を迎えようとしている。アマチュア・ゴルファー小川の25年前と今では、家庭内の環境も大きく変わろうとしている。

話題をふたたびプレーのほうに戻そう。小川がこのインタビューで一番先に口にしたのは、飛びの問題だ。

「きょう優勝した甲斐君や中島君（雅生）には、いつも20～30ヤードくらい遅れていましたね。20年前の選手と比較してみてもっとも違うのは飛距離です。

例えば昔はパーシモンでしたが、せいぜい飛ばす人でも250ヤードくらいです。ところがいまは300ヤードは飛ばします。シャフトやヘッド、それにボールなど、道具の改良がまず挙げられますが、同時にプレーヤーの体格、技術の進歩など飛びの要素になっていると思います」

と小川はまず現在のゴルフの飛びの凄さから話をきり出す。たしかに最終日、甲斐が見せた18番（434ヤード）でのドライバー・ショットは「130ヤードを残す距離」というからゆうに300ヤードを飛ばしたことになる。小川が驚くのも無理からぬところだ。

小川が関東アマに出始めた頃は学生ゴルファーの逸材が揃った時代でもあった。鍋島直要（慶応大）、湯原信光、牧野宏らの日大勢などがひしめいていた。だが、実力はまだ社会人のほうが優位で、坂田哲男（袖ヶ浦）、加藤一彦（千葉）などの強豪が関東のアマチュア界をリードしていた。技術的にもまだまだ社会人のほうが上で、学生ゴルファーとは、かなりの格差があった。

ところがいまでは、学生ゴルフのトップにいるプレーヤーたちは、将来、プロを視野に入れている人が多く、社会人ゴルファーを寄せつけないほどの実力を誇っている。関東アマチュア選手権が8年間連続学生ゴルファーの手に渡っていることでもそれが証明できる。

だが小川は「学生が強いスポーツ種目は栄える」という見解をもっている。小川が慶応大学の野球部で球を追いかけていたころは、まさに学生野球一辺倒の時代でもあった。その野球はいまやプロに受け継がれ、イチロー選手、佐々木主浩選手（ともにシアトル・マリナーズ）に代表されるようにアメリカの大リーグに進出するまでになった。小川が社会人ゴルファーとして活躍し始めたころに学生ゴルフもまた日大勢を中心に黄金時代を迎えているのだが、そのパワーがいまのプロ全盛時代につながったといえなくもない。

ただ小川は学生ゴルファーがアマチュアの中心になることにある不安の念をもっている。

「ぼくらがアマの中堅だった頃に、川岸良兼君（プロ）や芹沢大介君（プロ）がジュニアやアマ選手権などで一緒になることがありました。この頃のぼくらの役目の一つにPTA的な指導という面をもたされたことがありました。つまり、ゴルフの精神や本質を忘れたプレーをしないように、われわれが手本になろうというのがそれです。若いアマチュアが将来さらに立派なアマチュアに育つよ

うにお手伝いしようという役割だったのです。ところが経験の浅い学生ゴルファーやジュニアたちが、すぐに



決勝出場25回の特別表彰を受けた小川 透さん

トップ・アマの座に上がってしまうと、ぼくらがかつて役目を担ったようなPTA的立場の人が少なくなってしまう。それだけゴルフの本質であるマナーやエチケットの後退した雰囲気生まれてくるのではないかと心配されます」

と、以前小川がPTA的な役目をもって一緒にプレーした雰囲気がなくなりかけているのではないかと危惧している。野球やサッカーのようなチーム・プレーで争う競技なら、ベテランが粗雑な態度でプレーする若手を一喝できるが、ゴルフは個人競技だけになかなか目が届かない。小川の世代のプレーヤーたちがPTA的な立場で若手を指導するという環境はぜひ必要なことなのだが……。

その点、小川に代表されるベテランのアマ選手たちにこれからもプレーに集中するかたわら自然にほとぼり出る“アマチュア・ゴルファー”の姿を若いプレーヤーたちに示してもらいたいものである。

「でも、最近はずいぶんアマチュア・ゴルファーも落ち着いてまいりましたね。服装にしても、ひと頃のように派手なけばけばしい格好をする人がいなくなったし、ことしのチャンピオンの甲斐君などは体育会系らしく、礼儀も正しいし、言葉もはきはきしていましたね。こういう人たちがプロでもアマでもトップの位置を占めるようになれば、日本のゴルフ界もさらに健全な発達を遂げるのではないのでしょうか」

と小川は優勝者甲斐に見られるようなスポーツマンライフな態度に目を細め、関東アマチュア選手権出場25年にして、ゴルフ界にも“変革”の兆しが出てきたことに大きな期待を寄せている。

平成13年度 関東アマチュアゴルフ選手権決勝競技

エントリー数162名/出場者数161名/欠場者1名

順位	選手名	所属	第1ラウンド	第2ラウンド	第3ラウンド	第4ラウンド	合計
1	甲斐慎太郎	日本体育大	74	77	72	74	297
2	河瀬 賢史	日本大	76	76	70	75	297
3	和田 雅英	東京五市	74	78	75	73	300
4	坂本 聡	KGA推薦	75	78	76	73	302
4	太田 直己	日本体育大	80	77	72	73	302
6	和田 博	東京五市	79	77	76	71	303
6	中島 徹	関東ジュニア	80	75	74	74	303
6	中島 雅生	ベルハルスロ	82	71	74	76	303
9	小川 透	岡部チサン	71	80	76	77	304
10	佐瀬倉一郎	善 連川	81	77	73	74	305
10	江原 浩浩	日本体育大	75	72	85	73	305
10	清田太一郎	日本体育大	78	74	78	75	305
10	阪田 哲男	袖ヶ浦	77	73	78	77	305
10	丸山 聖	鳥山城	76	77	71	81	305
10	徳永 雅洋	ザ・レイクス	80	74	75	76	305
16	小川 純一	東名厚木	77	76	80	73	306
16	沢田 信弘	東京五市	79	71	78	78	306
18	池田 勇太	千葉国際	79	77	74	77	307
18	石井 保行	清 川	80	72	80	75	307
18	藤田 尚希	関東ジュニア	77	74	81	75	307
18	白井 敬夫	総 武	79	73	78	77	307
22	金子 光規	レインボー	80	74	80	74	308
22	千野 英樹	イーストウッド	77	78	78	75	308
22	染谷 朋幸	ロイヤルオーク	79	74	79	76	308
22	竹内 寿樹	ヴェルデ野	80	76	76	76	308
22	熊谷 淳	専 修 大	82	75	72	79	308
27	坂垣 道也	伊香保国際	76	80	79	74	309
27	小原 淳	関東ジュニア	74	81	80	74	309
27	杉山 稔	総 武	77	79	75	78	309
27	上島 英信	ニッソー	74	79	77	79	309
31	宮本 清	小 川	82	79	77	72	310
32	宮 辰夫	習 志 野	78	74	80	79	311
32	森森 英道	小 幡 郷	80	80	75	76	311
32	桜井 延秋	新 千 葉	77	80	75	79	311

予選競技メダリスト選手

ブロック	選手名	所属	スコア
第1ブロック (東京五市)	熊谷 淳 (専修大学)	72ストローク	
	露木 実 (東名厚木)	*	
第2ブロック (伊香保国際)	河瀬 賢史 (日本大学)	68ストローク	
	千野 英樹 (イーストウッド)	70ストローク	
第3ブロック (杉ノ郷)	田中 大介 (日本大学)	*	
	和田 貴之 (茨城ロイヤル)	71ストローク	
第5ブロック (千葉新日本)	桜井 延秋 (新千葉)	68ストローク	
	甲斐慎太郎 (日本体育大学)	*	
第6ブロック (春日原)	梶原 久義 (甲府国際)	72ストローク	
	太田 再勇 (大相模)	*	
	山田真一郎 (専修大学)	*	

順位	選手名	所属	第1ラウンド	第2ラウンド	第3ラウンド	第4ラウンド	合計
32	渋谷 重氏	千葉国際	81	76	78	76	311
36	吹野 耕一	都 賀	81	80	76	75	312
36	杉田 勇	GMG八王子	79	79	77	77	312
36	角田 衣弘	富 里	77	76	81	78	312
36	永井 英輔	沼 津	84	73	77	78	312
36	亀井 隆	唐 沢	77	81	75	79	312
41	重田 栄作	ダイワインター	80	76	80	77	313
41	志村 幹夫	日 立	78	78	78	79	313
41	水上 晃男	鶴 舞	78	76	77	82	313
44	内田 宏健	関東国際	80	77	81	76	314
44	関谷 謙志	慶應義塾大	81	77	78	78	314
44	斎藤太津規	扶 桑	76	77	81	80	314
47	丸山 聖	関東ジュニア	79	79	81	76	315
[以上日本アマチュアゴルフ選手権競技出場有資格者]							
47	堀江 隆	カバヤ	79	82	80	74	315
47	伊藤 啓二	穂 高	84	76	74	81	315
50	日向 和弘	鬼 怒 川	78	82	75	81	316
50	奥山 裕士	新 千 葉	82	78	73	83	316
50	糸井 中	玉 造	77	82	75	82	316
53	川根 隆史	伊香保国際	81	79	80	79	319
53	市川 賢	東京国際	81	81	77	82	319
55	矢田 弘	龍ヶ崎	79	80	87	73	320
55	嶋田 憲人	青 梅	81	80	85	74	320
55	飯島 孝	扶 桑	81	78	81	80	320
58	戸蔭 大和	法 政 大	84	77	80	80	321
59	秋元 嘉夫	レインボー	81	78	79	84	322
59	藤崎 正一	泰 野	83	78	80	81	322
61	柳澤 信吾	袖ヶ浦	77	83	80	84	324
62	宿谷 郁男	東ノ宮	82	76	82	85	325
63	島村 敏	八王子	82	78	82	86	328
64	原 剛雄	横 浜	82	79	87	82	330
65	太田 再勇	大相模	85	76	83	87	331
	中野 正義	霞ヶ浦出島					(失格)
	笠川喜久男	鷹之台					(失格)

特別表彰

表彰種別	選手名
決勝競技	小川 透 (岡部チサン)
(25回出場表彰)	高安 信行 (セントラル)
(15回出場表彰)	加部 嗣男 (東 名)
(10回出場表彰)	岡庭 正春 (鎌ヶ谷)
	笠川喜久男 (鷹之台)
	神戸 誠 (太田双葉)
	杉山 稔 (総 武)

倶楽部対抗予選 (栃木第1ブロック)
初出場永野ゴルフクラブを訪ねて

これで“日本”への道がひらけた

文・塩田 正 (KGA広報委員)
写真・片山晴美 (KGA広報委員)

ことしも関東倶楽部対抗への初参加が8チームを数え、年々増加の一途をたどっているが、そのへんを探りたくて、栃木第1地区予選競技(宇都宮カンツリークラブ)に、初参加の永野ゴルフ倶楽部チームを訪ねた。

会場の宇都宮CCへ行ってみると早くも各チームの応援団が出揃って9番、18番グリーンの近くにそれぞれ青いビニールを敷きその上に坐って、選手の上がってくるのを今やおそしと待ち構えているところだった。

さて、ことし初参加の永野はどこ? と見まわしてみるのがいっこうに見当がつかない。「えいっ、それでは」とおおよその目安として、活気があって、なんとなくそわそわと落ち着かない応援団を当ることにした。二、三のチームを聞いて歩くうちに永野チームにぶつかった。

最初にインタビューに応じてくれたのは、研修会会長の佐藤重行氏である。その佐藤氏に最初から急に触れる質問をぶつけてみた。

——世の中は不況だということに、なぜこの関東倶楽部対抗に参加する気になったのですか。

佐藤 たしかに倶楽部対抗に出るには、それだけお金がかかりますよね。ただ私たちとしては、それ以上に“日本”という競技につながるパイプが欲しかったんです。

関東ゴルフ連盟にはいってあげば、同連盟の主催するいろいろな大会に参加できるし、その大会を通じて、成績次第では“日本”と名のつく競技会へも出場できる。つまり“日本”への道が開けることになるわけです。メンバーシップのゴルフ・クラブであれば、メンバーのためにこうした配慮をするのは当然の



インタビューに応じる佐藤重行さん

ことではないでしょうか。その第1番目の競技としてこのKGA主催の関東倶楽部対抗にエントリーしたわけです。

このように佐藤氏は胸のうちのあかす。たしかに“日本”への通用門としてのKGA入りは、メンバーにとっても大きな期待を抱かせる。佐藤氏にその点にふれて「会員の中でも目標をもってプレーしている人は、クラブ競技に対する意欲もいっそうアップし、とくに若い人は目の色を変えて競技に参加してくるようになりました」とKGA加盟の効果をこんなふう語る。



野趣あふれる応援団

さらにクラブ内には今までにない雰囲気も生まれてきているようだ。

「この関東倶楽部対抗競技の出場に当たっては、クラブ側が壮行会を開いてくれましたが、一般会員も混じって、大いに激励されました。こんな光景は今までなかったことです。何かメンバー、事務局が一体となって事に当たろうという雰囲気が見えました。カンツリーのクラブとしての基盤がいっそう強化されたような感じですね。」

と前記佐藤研修会会長は強調する。また、プレーイング・キャプテンの増田譲氏は関東ゴルフ連盟にはいり、その第一戦を戦ってつぎのような感想を述べる。

「メンバーの親密度が高く、競技会も楽しい雰囲気というのが永野GCの特徴でしたが、これではいつまでたっても目標のない競技会で終わってしまう。今回、初めて関東倶楽部対抗予選に出てみて、自分たちのクラブの腕を試してみることができたは、これからの競技会の性格をも変えてしまうのではないかと思います。目標をはっきりと認識でき、もっと充実した競技会になるのではないのでしょうか」

予選の結果は25チーム中、25位という成績だったが、選手たちは決して沈み込んではいない。「いい緊張感があり、来年こそ頑張ります」(松本幸雄選手)。「応援にまわった人たちをうらやましいと思いましたが、終わってみれば、来年こそ」(菊地厚夫選手)。「大変勉強になった。この経験を来年に」(藤城憲明選手)と、ひるんでいる様子はまったくなく、目は来年への意欲にらんと燃えている。そして自分たちの努力しだいで道は“日本”にまでつながっていることに大きな希望を抱いているようである。今後の永野ゴルフクラブに大きな期待を寄せたい。

平成13年度 関東倶楽部対抗予選競技成績表

地域別 順位	新潟	長野	山梨	群馬	栃木第1	栃木第2	茨城第1
	新潟 12年9月19日(火)	松本浅間 5月22日(火)	甲府国際 5月21日(月)	鳳凰 5月17日(木)	宇都宮 5月15日(火)	東宇都宮 5月18日(金)	麻生 5月16日(火)
優勝	フォレスト 464	穂高 456	甲府国際 462	太田双葉 457	芳賀 491	矢板 479	扶桑 464
2位	日本海 468	諏訪湖 458	昇仙峡 476	草津 463	宇都宮 499	那須チサン 481	龍ヶ崎 472
3位	柏崎 470	松本 459	富士川 478	赤城国際 468	紫塚 502	唐沢 483	ニッソー 480
4位	新潟 471	塩嶺 464	タワウソウ 481	藤岡 469	塩原 504	下野 484	富士・笠間 481
5位	下田城 475	信州駒ヶ根 468	甲斐駒 482	甘楽 474	鹿沼 504	南摩城 486	大和 484
6位	小千谷 477	南長野 468	グリーンバレイ 491	鳳凰 476	ゴールデン・レイクス 507	阜田・佐野 492	桜 484
7位	長岡 479	松本浅間 471	秋山 491	伊香保 476	グリーンクマナー 511	鬼怒川 494	常陽 486
8位	紫雲 480	長野 471	メイプルポイント 493	グリーンパーク 477	日光 511	広陵 495	麻生 487
9位	湯田上 481	千曲高原 479	都留 494	伊香保国際 480	栃木 516	那須小川 498	ザ・レイクス 487
10位	十日町 481	豊平科 480	清春 498	群馬 483	あさひヶ丘 519	東宇都宮 499	取手国際 488
11位	レイクビュー 482	菅平高原 483	河口湖 505	上武 484	鳥山城 522	足利 506	穴戸 490
12位	妙高サンシャイン 487	信濃 486	オリムピック 511	妙高スプリングス 485	皆川城 525	阜田・鹿沼 506	スプリングフィールズ 491
13位	新津 492	佐久平 488	春日居 517	沼田スプリングス 485	東ノ宮 528	ロイヤル 507	霞台 495
14位	ヨネックス 494	三井の森 490	中央都留 526	桐生 490	大平台 530	関東国際 507	那珂 497
15位	新潟sp・三条 495	長野国際 490		高崎 K G 491	大井・ヒメクリスト 530	チサン黒羽 509	筑波学園 500
16位	笹神五頭 498	川中嶋 491		ベルエア 492	千成 531	都賀 511	土浦 502
17位	越後 498	あづみ野 492		御荷鈴 493	鷹 531	佐野 512	フレンドシップ 510
18位	湯沢 499	サニー 493		下仁田 495	アローエース 532	新宇都宮 513	栗橋国際 511
19位	イーストヒル 499	望月 500		ロイヤルオーク 496	杉ノ郷 535	東松苑 514	ダイヤグリーン 518
20位	糸魚川 502	グランステージ 505		プリンスランド 498	サンレイク 537	黒磯 514	ザ・ウィングス 521
21位	新潟sp・出雲崎 502	望月東急 506		美野原 498	パークレイ 542	鹿沼 7 2 515	久慈川 528
22位	妙高 503	ヴィアラ 513		ツインレイクス 498	鶴 543	思い川東急 516	桂ヶ丘 528
23位	アイビス 506			関越ハイランド 504	栃の木 545	サンヒルズ 517	
24位	中条 506			下秋間 507	ユーアイ 548	風月 523	
25位	新発田城 509			永野 558	藤和那須 530		
26位	津川 513						
27位	松ヶ峯 513						
28位	石地シーサイド 516						
29位	舞子後楽園 517						
30位	ルーセント 541						
Aクラスメダリスト	三宮勇雄 (柏崎) 72	大野弘治 (松本) 74 奥本公太 (諏訪湖) 瀧澤隆 (南長野)	石井重次 (メイプルポイント) 73	赤坂設男 (高崎 K G) 71	尾関達昭 (あさひヶ丘) 78 矢吹元良 (ゴールデン・レイクス)	佐々木完二 (広陵) 76	福田一男 (スプリングフィールズ) 73
Bクラスメダリスト	松本重光 (フォレスト) 69	寺島衛 (穂高) 69	冬頭克宣 (甲府国際) 70	大和田康夫 (草津) 68	金浩延 (塩原) 74	山内帝法 (下野) 70	日暮俊明 (扶桑) 72 山口和孝 (麻生)

(注) ※は初参加倶楽部

18ホール・ストロークプレー (参加315倶楽部・1,890名)

茨城第2	埼玉	千葉第1	千葉第2	東京	神奈川	静岡
潮来 5月15日(火)	飯能 5月21日(月)	長南 5月14日(月)	かずさ 5月15日(火)	多摩 5月14日(月)	磯子 5月21日(月)	富士箱根 5月18日(金)
セントラル 460	岡部チサン 475	袖ヶ浦 463	千葉国際 476	立川国際 459	東名厚木 462	富士箱根 452
水戸 470	霞ヶ関 482	総武 475	千葉 478	東京五日市 463	小田原・松田 478	沼津 464
日立 470	東松山 483	千葉スプリングス 482	新千葉 480	府中 469	相模 478	大熱海国際 464
江戸崎 471	武蔵 485	姉ヶ崎 483	東千葉 481	桜ヶ丘 473	相模原 484	豊岡国際 473
潮来 473	浦和 486	藤ヶ谷 483	習志野 481	東京よみうり 483	横浜 486	富士チサン 473
白帆 479	日高 487	木更津 484	成田スプリングス 482	GMG八王子 485	磯子 487	東名 474
大洗 480	寄居 490	鷹之台 488	中山 483	多摩 487	秦野 488	富士宮 479
セゴビア 481	高根 491	レインボーヒルズ 488	千葉新日本 484	東京国際 489	大相模 488	リバー富士 483
金砂郷 482	入間 492	ザ・鹿野山 488	かずさ 491	青梅 492	清川 491	三島スプリングス 484
サニーフィールド 483	廣済堂埼玉 493	東京スプリングス 491	白鳳 492	小金井 494	葉山国際 493	天城にっかつ 486
茨城ロイヤル 483	埼玉国際 494	八幡 494	加茂 493	武蔵野 496	東京 C C 495	御殿場 495
霞ヶ浦出島 485	嵐山 494	富里 499	鶴舞 501	八王子 498	小田原湯本 495	函南 498
筑波 486	鴻巣 495	南総 501	千葉廣済堂 501	相武 504	津久井湖 495	富士小山 499
水戸グリーン 487	鳩山 495	船橋 501	房総 506	赤羽 528	レインボー 497	富士 500
新水戸 488	美里 496	小御門 503	上総富士 510		大泰野 497	富士御殿場 501
セパ・パルステロス 491	ノーザン鎌ヶ原 497	佐原スプリングス 504	我孫子 512		相模湖 498	伊東 C C 508
茨城パシフィック 491	狭山 498	真名 506	南千葉 512		大厚木 500	愛鷹 512
浅見 494	熊谷 500	柏 509	本千葉 514		平塚富士見 500	菊川 512
茨 498	川越 501	一の宮 510	京葉 517		湯河原 501	
ノースショア北浦 503	飯能 503	カレドニアン 510	鳳琳 519		中津川 502	
ロックヒル 515	高坂 509	源氏山 511	平川 522		伊勢原 504	
	東京 509	成田 C C 519	エンゼル 523		箱根 507	
	飯能グリーン 510	四季 520	紫 531		相模野 509	
	埼玉 515	長南 542	長太郎 535		芙蓉 530	
	越生 515					
	武蔵松山 516					
	秩父国際 523					
	ユニオンエース 失格					
高安信行 (セントラル) 73	岡田恵司 (浦和) 75 小川透 (岡部チサン) 廣川真人 (霞ヶ関)	林安雄 (袖ヶ浦) 74	渋谷重氏 (千葉国際) 72	兼田克彦 (立川国際) 70	浅井和彦 (横浜) 72	植松潤一 (沼津) 71
竹石誠 (筑波) 74	野口光三 (美里) 74	飯岡雄一 (鷹之台) 72	室野歩 (東千葉) 72	大久保蕃 (桜ヶ丘) 72 和田博 (東京五日市)	石井保行 (清川) 73 露木実 (東名厚木)	神崎彪 (富士箱根) 72 成田朋正 (豊岡国際)

平成13年度 関東倶楽部対抗決勝競技

- 開催日 平成13年6月25日(月)
- 開催コース 戸塚カントリー倶楽部 Aクラス 東コース 6,605ヤードパー72
Bクラス 西コース 6,925ヤードパー72



打って一丸「目標は75」

——千葉カントリークラブ最多8度目の優勝——

文・杉山通敬・山田和臣 (KGA広報委員)
写真・片山晴美・舟橋一芳 (KGA広報委員)



8回目の最多優勝を果たした千葉カントリークラブの面々(左)と、喜びのスピーチをする福田正資監督(右)



福田理事長(父)より福田監督(子)に優勝盾を授与



大スコアボード前

● 1890名の史上最多出場者

「関東8倶楽部対抗競技大会」の名称で昭和9年にスタートした「関東倶楽部対抗競技」は、今年55回を迎えた(昭和16年から28年まで中止)。最初の大会は、8倶楽部からそれぞれ10名の選手が参加し、マッチプレーによる勝ち抜き戦で行われた(優勝は程ヶ谷CC)。

第55回大会の今年は、予選に参加した倶楽部が315倶楽部、参加選手の総勢は実に1890名であった。予選は14ブロックに区分され、44倶楽部が決勝大会に駒を進めた。開催倶楽部の戸塚カントリー倶楽部は、恒例により予選免除されたので、45倶楽部270名によって「関東ナンバーワン」の名誉をかけた大会が行われた。

その結果、別表の通り千葉カントリークラブが「ナンバーワン」の座についた。表彰式前のあわただしい時間を縫って、同クラブの新村ヨシオ主持をインタビューした。

——代表選手はいつ頃決定したのですか。

「3月後半に11名の候補選手が選ばれ、毎日曜日に集まって練習しました」

——当然、戸塚コースの下見というか、指定練習日に視察プレーをしたのでしょうか。

「ええ、生憎と雨の日ばかりでしたけど、戦略面では支障がないので、プレー後みんなで気をつけるホールなど、思ったことを自由に言い合って、スコアメイクのことを考えました」

——練習日は雨、今日は好天。グリーンの状態がずい分と変わったと思いますけど、みなさんは影



心配そうに自軍の選手のプレーを見守る



無情にもボールはカップの縁



思うようにいかなかった?



自軍選手の登場を今やおそしと待ちかまえる

KGA主催競技で、もっともギャラリーの多いのが本競技。倶楽部あげての大応援団がかけつける



響されませんでしたか。

「それはなかったようです。パットは誰でもその日のフィリング次第でしょうから」

——目標スコアはあらかじめ決めていましたか。

「はい。目標は75。みんなで力をあわせてクリアするようにしたいと思っていました」

少しばかり余談になるが、20年ほど前に新村さん取材したことがある。あるゴルフ雑誌で「シングルさんの我流発見」という、連載読み物を担当していた時で、パットはその日のフィーリングまかせ。悪いときは青木（功プロ）だって入らない。ジタバタしてもはじまらないわけで、今日はどんなフィーリングでパットが出来るか、客観的に眺めている感じです。そんなふうに通っていたのを思い出す。

●「純粋」と「多目的」

倶楽部対抗は親睦競技だ、といわれる。いや、アマチュアの競技はすべからく、そうであろう。だからといって、優勝劣敗を度外視したら、競技そのものの存在理由はなくなってしまふ。ポビー・ジョーンズも言っている。第1回世界アマチュア・チーム選手権が行われる前夜祭でこうスピーチした。

「私たちはすべて、試合に勝つために全力を尽くします。そうすることが、参加した仲間の競技者とともにゴルフに対する敬意を表明することになるからです。私たちのすべてがここで結ばれ、ここから輪を広げ、やがて世界の国々の間で友情が育まれていく、その端緒となることを願ってここ

世界平和を期して、ゴルフを通じて国際親善を促進する



へ集まってきたのです。

私は、あるひとつのトーナメントが奇跡をもたらしてくれるのを期待するほど単純な人間ではありませんが、私たちがここでまいた一粒一粒の種がやがて芽を出し、世界の平和に向かってよい影響を及ぼすことを願わずにはいられないのです」(GolF is my Game)

このスピーチに異をとなえるゴルファーはいないであろう。

「世界平和」とまでは言えないにしても、315倶楽部、1890名の選手は「試合に勝つために全力を尽くし、そこから友情の輪を広げ、友情を育む」ために、この競技に参加したにちがいない。田村圭司、競技副委員長が言っていた。

「スポーツマンとして、フェアにプレーしようと

する態度の選手が年ごとに増えています。アンフェアな選手はレッテルを貼られ、要注意人物にされてしまう」

が、いささか杞憂されるのは、こうした競技の趣旨や目的に反して、お祭り気分の倶楽部関係者が少なくないことである。昭和30年代に何回か、倶楽部対抗に選手として出場したことのある、福田彰、KGA理事長が言っていた。

「むかしは純粋でした。今は多目的になりすぎてます」

まことに簡明ではあるけれど、この言葉の持つ意味は深い。「純粋」が失われて「多目的」になったのか。「多目的」になりすぎて「純粋」が色褪せたのか。来年の大会までの間、みんなで、よく考えてみようではありませんか。

平成13年度 関東倶楽部対抗決勝競技成績表

6月25日(月) 於：戸塚カントリー倶楽部

1位 千葉カントリークラブ 得点461

Table with 5 columns: 氏名, 合計, アウト, イン, 順位. Lists players like 山田 浩一, 渡辺 圭, etc.

(チーム平均ストローク=76.83)

2位 袖ヶ浦カントリークラブ 得点465

Table with 5 columns: 氏名, 合計, アウト, イン, 順位. Lists players like 山田 浩一, 渡辺 圭, etc.

(チーム平均ストローク=77.50)

3位 太田双葉カントリークラブ 得点468

Table with 5 columns: 氏名, 合計, アウト, イン, 順位. Lists players like 遠藤 武志, 山田 浩一, etc.

(チーム平均ストローク=78.00)

4位 扶桑カントリー倶楽部 得点468

Table with 5 columns: 氏名, 合計, アウト, イン, 順位. Lists players like 寺田 博一, 山田 浩一, etc.

(チーム平均ストローク=78.00)

5位 東京五都市カントリー倶楽部 得点471

Table with 5 columns: 氏名, 合計, アウト, イン, 順位. Lists players like 滝田 正元, 山田 浩一, etc.

(チーム平均ストローク=78.50)

6位 東松山カントリークラブ 得点472

Table with 5 columns: 氏名, 合計, アウト, イン, 順位. Lists players like 坂橋 理, 山田 浩一, etc.

(チーム平均ストローク=78.67)

7位 武蔵カントリークラブ 得点472

Table with 5 columns: 氏名, 合計, アウト, イン, 順位. Lists players like 望月 功一, 山田 浩一, etc.

(チーム平均ストローク=78.67)

8位 千葉国際カントリークラブ 得点472

Table with 5 columns: 氏名, 合計, アウト, イン, 順位. Lists players like 清宮 和男, 山田 浩一, etc.

(チーム平均ストローク=78.67)

9位 那須チサンカントリークラブ 得点472

Table with 5 columns: 氏名, 合計, アウト, イン, 順位. Lists players like 室井 一男, 山田 浩一, etc.

(チーム平均ストローク=78.67)

10位 富士箱根カントリークラブ 得点473

Table with 5 columns: 氏名, 合計, アウト, イン, 順位. Lists players like 森田 茂雄, 山田 浩一, etc.

(チーム平均ストローク=78.83)

11位 小田原ゴルフ倶楽部・松田コース 得点474

Table with 5 columns: 氏名, 合計, アウト, イン, 順位. Lists players like 坂本 隆行, 山田 浩一, etc.

(チーム平均ストローク=79.00)

12位 東名厚木カントリー倶楽部 得点475

Table with 5 columns: 氏名, 合計, アウト, イン, 順位. Lists players like 大野 忠夫, 山田 浩一, etc.

(チーム平均ストローク=79.17)

13位 ニッソーカントリー倶楽部 得点475

Table with 5 columns: 氏名, 合計, アウト, イン, 順位. Lists players like 北村 正治, 山田 浩一, etc.

(チーム平均ストローク=79.17)

14位 草津カントリークラブ 得点477

Table with 5 columns: 氏名, 合計, アウト, イン, 順位. Lists players like 山中 茂, 山田 浩一, etc.

(チーム平均ストローク=79.50)

15位 赤城国際カントリークラブ 得点478

Table with 5 columns: 氏名, 合計, アウト, イン, 順位. Lists players like 長津 照味, 山田 浩一, etc.

(チーム平均ストローク=79.67)

16位 龍ヶ崎カントリー倶楽部 得点478

Table with 5 columns: 氏名, 合計, アウト, イン, 順位. Lists players like 諸岡 章, 山田 浩一, etc.

(チーム平均ストローク=79.67)

17位 沼津ゴルフクラブ 得点479

Table with 5 columns: 氏名, 合計, アウト, イン, 順位. Lists players like 堀谷 正明, 山田 浩一, etc.

(チーム平均ストローク=79.83)

18位 セントラルゴルフクラブ 得点479

Table with 5 columns: 氏名, 合計, アウト, イン, 順位. Lists players like 鹿野 信行, 山田 浩一, etc.

(チーム平均ストローク=79.83)

19位 水戸・ゴルフ・クラブ 得点479

Table with 5 columns: 氏名, 合計, アウト, イン, 順位. Lists players like 小中 進清, 山田 浩一, etc.

(チーム平均ストローク=79.83)

20位 宇都宮カントリー倶楽部 得点479

Table with 5 columns: 氏名, 合計, アウト, イン, 順位. Lists players like 石川 栄一, 山田 浩一, etc.

(チーム平均ストローク=79.83)

21位 戸塚カントリー倶楽部 得点479

Table with 5 columns: 氏名, 合計, アウト, イン, 順位. Lists players like 木田 史郎, 山田 浩一, etc.

(チーム平均ストローク=79.83)

22位 総武カントリークラブ 得点480

Table with 5 columns: 氏名, 合計, アウト, イン, 順位. Lists players like 上中 修, 山田 浩一, etc.

(チーム平均ストローク=80.00)

23位 立川国際カントリー倶楽部 得点480

Table with 5 columns: 氏名, 合計, アウト, イン, 順位. Lists players like 久保田 敬也, 山田 浩一, etc.

(チーム平均ストローク=80.00)

24位 千葉スプリングスカントリー倶楽部 得点480

Table with 5 columns: 氏名, 合計, アウト, イン, 順位. Lists players like 松井 康夫, 山田 浩一, etc.

(チーム平均ストローク=80.00)

25位 新千葉カントリー倶楽部 得点480

Table with 5 columns: 氏名, 合計, アウト, イン, 順位. Lists players like 土屋 貞雄, 山田 浩一, etc.

(チーム平均ストローク=80.00)

26位 芳賀カントリークラブ 得点482

Table with 5 columns: 氏名, 合計, アウト, イン, 順位. Lists players like 関口 邦雄, 山田 浩一, etc.

(チーム平均ストローク=80.33)

27位 フォレストゴルフクラブ 得点482

Table with 5 columns: 氏名, 合計, アウト, イン, 順位. Lists players like 高村 勇, 山田 浩一, etc.

(チーム平均ストローク=80.33)

28位 穂高カントリー倶楽部 得点483

Table with 5 columns: 氏名, 合計, アウト, イン, 順位. Lists players like 丸山 淳, 山田 浩一, etc.

(チーム平均ストローク=80.50)

29位 日立ゴルフクラブ 得点485

Table with 5 columns: 氏名, 合計, アウト, イン, 順位. Lists players like 鈴木 英明, 山田 浩一, etc.

(チーム平均ストローク=80.83)

30位 諏訪湖カントリークラブ 得点485

Table with 5 columns: 氏名, 合計, アウト, イン, 順位. Lists players like 前田 信, 山田 浩一, etc.

(チーム平均ストローク=80.83)

31位 塩原カントリークラブ 得点485

Table with 5 columns: 氏名, 合計, アウト, イン, 順位. Lists players like 平山 定光, 山田 浩一, etc.

(チーム平均ストローク=80.83)

32位 昇仙峡カントリークラブ 得点485

Table with 5 columns: 氏名, 合計, アウト, イン, 順位. Lists players like 仲村 清和, 山田 浩一, etc.

(チーム平均ストローク=80.83)

33位 唐沢ゴルフ倶楽部 得点486

Table with 5 columns: 氏名, 合計, アウト, イン, 順位. Lists players like 奥倉 望, 山田 浩一, etc.

(チーム平均ストローク=81.00)

34位 松本カントリークラブ 得点487

Table with 5 columns: 氏名, 合計, アウト, イン, 順位. Lists players like 大野 弘治, 山田 浩一, etc.

(チーム平均ストローク=81.17)

35位 甲府国際カントリー倶楽部 得点488

Table with 5 columns: 氏名, 合計, アウト, イン, 順位. Lists players like 梶原 久義, 山田 浩一, etc.

(チーム平均ストローク=81.33)

36位 相模カントリー倶楽部 得点488

Table with 5 columns: 氏名, 合計, アウト, イン, 順位. Lists players like 吉川 茂, 山田 浩一, etc.

(チーム平均ストローク=81.33)

37位 下野カントリークラブ 得点489

Table with 5 columns: 氏名, 合計, アウト, イン, 順位. Lists players like 佐藤 勝, 山田 浩一, etc.

(チーム平均ストローク=81.50)

38位 矢板カントリー倶楽部 得点492

Table with 5 columns: 氏名, 合計, アウト, イン, 順位. Lists players like 中道 正光, 山田 浩一, etc.

(チーム平均ストローク=82.00)

39位 日本海カントリークラブ 得点493

Table with 5 columns: 氏名, 合計, アウト, イン, 順位. Lists players like 古山 勝, 山田 浩一, etc.

(チーム平均ストローク=82.17)

40位 大熱海国際ゴルフクラブ 得点494

Table with 5 columns: 氏名, 合計, アウト, イン, 順位. Lists players like 二階堂 勲, 山田 浩一, etc.

(チーム平均ストローク=82.33)

41位 紫塚ゴルフ倶楽部 得点495

Table with 5 columns: 氏名, 合計, アウト, イン, 順位. Lists players like 佐藤 次男, 山田 浩一, etc.

(チーム平均ストローク=82.50)

42位 関部チサンカントリー倶楽部 得点499

Table with 5 columns: 氏名, 合計, アウト, イン, 順位. Lists players like 六本木 清, 山田 浩一, etc.

(チーム平均ストローク=83.17)

43位 柏崎カントリー倶楽部 得点502

Table with 5 columns: 氏名, 合計, アウト, イン, 順位. Lists players like 上杉 昌, 山田 浩一, etc.

(チーム平均ストローク=83.67)

44位 霞ヶ関カントリー倶楽部 得点503

Table with 5 columns: 氏名, 合計, アウト, イン, 順位. Lists players like 井上 悦一, 山田 浩一, etc.

(チーム平均ストローク=83.83)

45位 新潟ゴルフ倶楽部 得点510

Table with 5 columns: 氏名, 合計, アウト, イン, 順位. Lists players like 洗木 善, 山田 浩一, etc.

(チーム平均ストローク=85.00)

Aクラス メダリスト

小川 透(四郎チサンカントリー倶楽部 71(37:34)) 林 安雄(袖ヶ浦カントリークラブ 71(37:34))

Bクラス メダリスト

沢田 信弘(東京五都市カントリー倶楽部 73(37:36)) 和田 雅英(東京五都市カントリー倶楽部 73(37:36))

武井 茂幸(赤城国際カントリー倶楽部 73(34:39))

木戸 哲則(小田原ゴルフ倶楽部・松田コース 73(38:35)) 大和田康夫(草津カントリークラブ 73(39:34))

平成13年度 関東倶楽部対抗決勝競技成績表

（平成13年度）第2回コース・レート委員会

平成13年度
第2回コース・レート委員会議事録

日時 平成13年6月12日（火）正午
場所 ダイヤモンドホテル 会議室
出席者 福田理事長
大原委員長
岡田正・前川・松岡各副委員長
長
大久保、萩島、岡田史、阪田、
杉山、寺村、内藤、平本、和
田各委員
渡邊顧問

— 討議及び決議事項 —

①査定数値決定について

カメラヒルズカントリークラブ以
下6倶楽部のコース・レーティング
を以下のように決定した。

カメラヒルズカントリークラブ	70.1
「バック・ティ」「ペントグリーン」	71.5
「レギュラー・ティ」「ペントグリーン」	69.6
「フロント・ティ」「ペントグリーン」	68.1
鶴舞カントリー倶楽部	
東コース	69.8
「バック・ティ」「ペントグリーン」	72.8

「レギュラー・ティ」「ペントグリーン」	70.0
「フロント・ティ」「ペントグリーン」	67.4
「バック・ティ」「コーライグリーン」	73.0
「レギュラー・ティ」「コーライグリーン」	70.3
「フロント・ティ」「コーライグリーン」	67.6
西コース	
「バック・ティ」「ペントグリーン」	72.8
「レギュラー・ティ」「ペントグリーン」	70.0
「フロント・ティ」「ペントグリーン」	66.8
「バック・ティ」「コーライグリーン」	73.0
「レギュラー・ティ」「コーライグリーン」	70.1
「フロント・ティ」「コーライグリーン」	66.9
エンゼルカントリークラブ	
東・中	
「バック・ティ」「RED(MAIN)グリーン」	71.1
「レギュラー・ティ」「RED(MAIN)グリーン」	69.8
「フロント1・ティ」「RED(MAIN)グリーン」	68.9

「フロント2・ティ」「RED(MAIN)グリーン」	67.2
「バック・ティ」「BLUE(SUB)グリーン」	69.6
「レギュラー・ティ」「BLUE(SUB)グリーン」	68.5
「フロント1・ティ」「BLUE(SUB)グリーン」	67.5
「フロント2・ティ」「RED(MAIN)グリーン」	66.0
中・西	
「バック・ティ」「RED(MAIN)グリーン」	71.6
「レギュラー・ティ」「RED(MAIN)グリーン」	70.3
「フロント1・ティ」「RED(MAIN)グリーン」	69.0
「フロント2・ティ」「RED(MAIN)グリーン」	67.4
「バック・ティ」「BLUE(SUB)グリーン」	70.1
「レギュラー・ティ」「BLUE(SUB)グリーン」	69.1
「フロント1・ティ」「BLUE(SUB)グリーン」	67.8
「フロント2・ティ」「RED(MAIN)グリーン」	66.3
西・東	
「バック・ティ」「RED(MAIN)グリーン」	70.3
「レギュラー・ティ」「RED(MAIN)グリーン」	69.1

「フロント1・ティ」「RED(MAIN)グリーン」	72.6
「レギュラー・ティ」「ペントグリーン」	67.9
「フロント2・ティ」「RED(MAIN)グリーン」	69.9
「バック・ティ」「BLUE(SUB)グリーン」	66.8
「バック・ティ」「BLUE(SUB)グリーン」	67.8
「レギュラー・ティ」「BLUE(SUB)グリーン」	68.7
「フロント1・ティ」「BLUE(SUB)グリーン」	67.5
「フロント1・ティ」「BLUE(SUB)グリーン」	66.4
「フロント2・ティ」「RED(MAIN)グリーン」	65.4
千葉国際カントリークラブ	
桜コース	
「バック・ティ」「ペントグリーン」	70.2
「レギュラー・ティ」「ペントグリーン」	68.5
「フロント・ティ」「ペントグリーン」	68.0
東庄ゴルフ倶楽部	
「バック・ティ」「ペントグリーン」	72.3
「レギュラー・ティ」「ペントグリーン」	70.0
「フロント・ティ」「ペントグリーン」	68.1
白水ゴルフ倶楽部（バック・ティの 改造机上査定）	
「バック・ティ」「ペントグリーン」	

②査定スケジュールについて

おかだいらゴルフリンクス以下8倶
楽部について、査定日を以下のよう
に決定した。

- おかだいらゴルフリンクス
8月28日（火）
- 芝山ゴルフ倶楽部
9月5日（水）
- 児玉カントリー倶楽部
9月11日（火）
- ザ・鹿野山カントリークラブ
9月18日（火）
- 湘南カントリークラブ
10月9日（火）
- 妙高原ゴルフ倶楽部
10月16日（火）
- 立野クラシック・ゴルフ倶楽部
10月26日（金）
- 湯河原カンツリー倶楽部
11月9日（金）

③JGA/ハンディキャップ委員会報告に
ついて

大原委員長より、配布資料をもとに、
JGAハンディキャップ委員会決議事
項の詳細な説明がなされ、それを受

け各委員活発な意見交換を行ない、
以下の事項を当委員会決議事項とし
て、6月19日に開催予定のJGAハンデ
ィキャップ委員会、また、KGA関係
委員会、理事会に上程することとし
た。

- KGAより各倶楽部に「JGA公認コ
ース・レーティングの認定期間」
15年制定に伴う再査定の実施につ
いて」の詳細な案内を発送する。
- 再査定費用は、無料とする。
- 更新料を諸費用含み、5万円とす
る。
- 交通費、宿泊費は、実費倶楽部負
担とする。
- 申し込み多数の場合は、受付順、
経過年数の古い順とする。
- 派遣する委員は、小人数とする。
- 実施は、平成14年度からとする。

平成13年度
第3回 月例競技委員会議事録

日時 平成13年4月20日（金）正午
場所 KGA会議室
出席者 松本委員長
岡野、加藤、河合、嶋田、星
野各委員
学生連盟委員

— 討議及び決議事項 —

①4月度競技報告及び総括

山崎、中野、阪田各副委員長欠席により、松本委員長より下記の報告及び総括がなされた。

「本年度関東アマ決勝会場ということで、男子の参加者数が173名となり、スタート時間を7時30分に変更した。天候は非常に良く、男子優勝は69、女子優勝も75と立派な成績であった。倶楽部からは山口競技委員長もご出席していただき、競技進行など、早朝よりご協力いただき感謝に堪えない。」

エントリー数他は以下のとおり
開催日 平成13年4月16日(月)
コース 能ヶ崎カントリー倶楽部

エントリー 218名
(男子173名、女子45名)

欠席者数 事前連絡12名(男子)
当日連絡4名
(男子2名、女子2名)

無断欠席 0名
出場者数 202名
(男子159名、女子43名)

科罰者 1名(男子)
ミーティング欠席 0名
失格者 1名(男子=6-3)

棄権者 1名(男子)
次回プレーオフ なし

②6月のテーマ

- グリーンフォークの携帯
- ルールブックの携帯

③その他

①参加者人数制限の件

前回委員会で検討された人数制限について、下記人数案を制定した。

●4月～9月 160名(男子110名、女子50名)

●10月～3月 144名(男子100名、女子44名)

上記人数を原則とするが、欠席者や開催倶楽部の関係もあるので、±10名ずつ位の余裕を持たせることとした。

また、制限数をオーバーした場合は、下記の順番で該当選手を優先することとした。

- 1.参加者
 - 2.獲得ポイント順
 - 3.参加回数の少ない者
- 以上の案を再度委員会で検討し、本年度10月度からの実施を決定した。

②学生連盟の参加人数枠拡大と参加料改訂について

関連委員会との様々な問題が生じるため、今後各委員会にて検討していくこととした。

③平成14年度日程案について

開催時期、開催会場の見直しも検討されたが、基本的に動かさないところもある現状である。今後委員会として新しい会場等を検討していくも、基本案を重視すること

とした。

平成13年度
第4回 月例競技委員会議事録

日時 平成13年6月19日(火) 正午

場所 KGA会議室

出席者 松本委員長

山崎副委員長

岡野、小倉、加藤、小坂、桜

井、嶋田、松井各委員

学生連盟委員

— 討議及び決議事項 —

①6月度競技報告及び総括

嶋田委員より下記の報告及び総括がなされた。

「連日の雨でコース内には水溜りも目立ったが、雨量を考えると比較的良好なコンディションであったと思う。難しいホールロケーションであったが、男女共に上位は好成績であった。」

エントリー数他は以下のとおり

開催日 平成13年6月15日(金)

コース 江戸崎カントリー倶楽部

エントリー 124名

(男子86名、女子38名)

欠席者数 事前連絡5名

(男子3名、女子2名)

当日連絡1名(男子)

無断欠席 0名

出場者数 118名
(男子82名、女子36名)

科罰者 1名(女子)

ミーティング欠席 0名

失格者 0名

棄権者 1名(女子)

次回プレーオフ なし

②7月のテーマ

- グリーンフォークを常に携帯すること。
- ルールブックを常に携帯すること。
- 服装の乱れが目立つため、注意すること。

③その他

- スタート時に配布していた「今月のテーマ」はスタートに掲示することとし、配布しないこととした。
- 服装の乱れが目立つため、今後テーマの中に少しずつ入れていくこととした。

平成13年度
第5回 月例競技委員会議事録

日時 平成13年7月9日(月) 正午

場所 KGA会議室

出席者 松本委員長

山崎副委員長

岡野、小倉、桜井、嶋田、瀬

賀、平山、湯原各委員

学生連盟委員

次回プレーオフ なし

— 討議及び決議事項 —

①7月度競技報告及び総括

山崎副委員長より下記の報告及び総括がなされた。

「快晴、微風の好コンディションに恵まれ、グリーンの状態も良く、競技は順調に進行していった。ミーティングにおいて、グリーン内外を問わず、ホールから遠い順番で打つこと、2グリーンゴルフ場においてはカートが予備グリーンの外側を回って行かなければならないケースが発生するため、旗竿持ちはプレーヤー同士の協力が必要であること、以上2点が松本委員長より指示された。」

エントリー数他は以下のとおり

開催日 平成13年7月2日(月)

コース 嵐山カントリークラブ

エントリー 159名

(男子107名、女子52名)

欠席者数 事前連絡5名

(男子3名、女子2名)

当日連絡2名(男子)

無断欠席 0名

出場者数 152名

(男子102名、女子50名)

科罰者 0名

ミーティング欠席 0名

失格者 0名

棄権者 0名

②8月のテーマ

- ピンの取り扱い
- バンカーレーキ

③その他

- スタート時間の間隔は開催コースの1番、10番の難易度、ホールロケーションによって7分か8分かを決定することとした。

- 練習場のウッドクラブ使用禁止については事前に確認をすることとした。尚、表記については「ウッド」禁止というのではなく、「〇〇ヤード以上」禁止と表示するのが好ましいが、倶楽部の事情で「ウッド」禁止ということであれば、それに従うこととした。



月例競技成績表

〔平成13年度4月月例〕平成13年4月16日(月) 龍ヶ崎カントリー倶楽部

順位	スコア	氏名	倶楽部名
1	69	杉山 稔	総 武
2	70	大輪 広明	水戸グリーン
2	70	和田 博	東京五日市
4	72	亀井 隆	唐 沢
4	72	岡田 光史	嵐 山

コースレート73.2

順位	スコア	氏名	倶楽部名
1	75	岡橋 早里	オーフ・ヘルズ
2	77	五十嵐洋子	藤 岡
2	77	矢島智都子	富 士
2	77	浅川 弘子	矢 板

コースレート70.0

〔平成13年度6月月例〕平成13年6月15日(金) 江戸崎カントリー倶楽部

順位	スコア	氏名	倶楽部名
1	72	神戸 誠	太田双葉
2	74	宮本 清	小 川
2	74	山崎 一雄	桜
2	74	和田 雅英	東京五日市
5	75	高安 信行	セントラル
5	75	阪田 哲男	袖ヶ浦
5	75	手塚 哲秀	大熱海国際
5	75	角田 充弘	富 里
5	75	笹 英樹	富士笠間
5	75	仙庭 悟	ベルエア

コースレート72.8

順位	スコア	氏名	倶楽部名
1	75	南雲 真理	岡部チサン
2	79	飯沼 恵子	宇 都 宮
3	82	市川 慶子	江 戸 崎
3	82	原田 町子	習 志 野

コースレート70.1

〔平成13年度7月月例〕平成13年7月2日(月) 嵐山カントリークラブ

順位	スコア	氏名	倶楽部名
1	68	沢田 信弘	東京五日市
2	71	高安 信行	セントラル
2	71	石井 保行	清 川
4	72	宮本 清	小 川
4	72	角田 充弘	富 里
4	72	梅澤 吉朗	群 馬
4	72	志村 幹夫	日 立

コースレート72.5

順位	スコア	氏名	倶楽部名
1	74	市川 慶子	江 戸 崎
2	76	関根奈穂美	セントラル
2	76	仁科 敏枝	泉月・鹿沼
2	76	牛込 成美	下 野

コースレート70.5

お知らせ

関東ゴルフ連盟「加盟倶楽部便覧」の変更事項は次記のとおりです。訂正加筆をお願い申し上げます。

理事長

- 高坂カントリークラブ
(新) 森川 敏雄 (旧) 伊部恭之助
- 南総カントリークラブ
(新) 荒井 時夫 (旧) 熊谷太一郎
- 箱根カントリー倶楽部
(新) 平田 秋夫 (旧) 小山 五郎

倶楽部代表者

- 下仁田カントリークラブ
(新) 鈴木 隆雄 (旧) 長谷部元宏
- 東松山カントリークラブ
(新) 山本 知男 (旧) 水野 康吉
- 武蔵カントリークラブ
(新) 土川 丈夫 (旧) 岩瀬 義郎
- 木更津ゴルフクラブ
(新) 宮内 章好 (旧) 黒須 美幸

- 南総カントリークラブ (旧) 半沢 友吉 (総支配人)
- (新) 荒井 時夫 (旧) 熊谷太一郎
- 箱根カントリー倶楽部 (新) 松永 晴夫 (旧) 小山 五郎
- こだまゴルフクラブ (新) 鈴木 好二 (旧) 藤田 章
- 支配人**
■太平洋アソシエイツ・ヒルクレストコース (新) 佐藤 好夫 (旧) 河名 俊夫
- 茨城ゴルフ倶楽部 (新) 倉持 治 (旧) 瀬戸島四郎
- 茨城パシフィックカントリー倶楽部 (新) 行田 豊 (総支配人)
- (旧) 酒井 義信 (支配人心得)
- 高麗川カントリークラブ (新) 綱島 春夫
- 埼玉ゴルフクラブ (新) 寛 修治 (旧) 岐部 典生
- 高坂カントリークラブ (新) 武田 栞雲 (旧) 佐藤 嘉一
- 日本カントリークラブ (新) 森本 勝男 (旧) 湯ノ口龍雄
- こだまゴルフクラブ (新) 鈴木 好二 (総支配人)
- (旧) 藤田 章 (総支配人)
- HDCP**
■鴻巣カントリークラブ ●→G-sys
- 長瀬カントリークラブ ●→G-sys

平成13年8月1日発行 KGA ニュース No.75
発行所/関東ゴルフ連盟 東京都千代田区麹町2-12 CTS麹町ビル8F TEL.(03) 5275-0391
発行人/福田 彰 編集/広報委員会